

令和7年度高梁川流域連携中枢都市圏事業

おかやま移住の始め方セミナー

家探しと地域とのかかわり編



地域の事、どう調べたらよい？
家探して、みんなどうやったの？
移住支援制度ってどんなものがあるの？

そんなギモンに、現役移住アドバイザーと先輩移住者が
丁寧にお答えします

このセミナーに参加して、「おかやま移住」に向けて動き出
しませんか？

6月14日(土)

13:00-15:30

ふるさと回帰支援センター セミナールームC・D

東京都千代田区有楽町2-10-1東京交通会館 8 F

定員
25名
要事前申込 (6/11㊞)

参加無料
おみやげ付き



【申込・お問合せ先】

■ 倉敷市くらしき移住定住推進室
【電話】086 - 426 - 3153 (月～金)
【メール】iju@city.kurashiki.okayama.jp

主催：岡山県・高梁川流域連携中枢都市圏

■ 認定NPO法人ふるさと回帰支援センター
岡山県担当アドバイザー：丸谷
【電話】090 - 6344 - 1948 (水～日)

共催：認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

↓ 申込はコチラ ↓



1. 現役移住アドバイザーが伝える「移住に向けたはじめの一步」 講師：松田礼平さん（NPO法人nimmi）
移住アドバイザーの立場から、移住活動を行う時に知っておくと良い点や、見落としがちだけどチェックしておくべき点などをお伝えします。
2. 先輩移住者の移住体験談 先輩移住者：杉森由実さん／稲葉 剛さん
おふたりの移住者から、自身の移住体験談をご紹介します。
3. パネルディスカッション「移住何でもQ & A」
講師と先輩移住者の皆さんに、移住に関するぶっちゃけ質問に付度なしでお答えいただきます！
4. 自治体PRタイム
参加自治体 5 市から移住支援情報などをお届けします。

講師・先輩移住者紹介

《講師》



松田 礼平 氏（福岡→新見市）

地域おこし協力隊として新見市へ移住し、かつて地域の生業として盛んだったアマゴの養殖を復活させる。活動終了後、複数の事業を展開しながら、新見への移住をサポートするため、NPO法人を設立。移住者支援等に尽力している。

《先輩移住者》



杉森 由実 氏（奈良→高梁市）

移住希望のあった夫からの提案で2人目を出産後に移住を検討。地元から近い高梁市の穏やかさに引き寄せられ、移住コンサルジユに家や町内会、学校園等の相談をする中で移住への不安が払拭され移住を決断。



稲葉 剛 氏（東京→倉敷市）

大学卒業後、東京のおもちゃ・ゲーム会社へ勤務。子育てをきっかけに、妻の地元に行きやすく、気候の良い倉敷へ移住。移住後は、カフェを経営しながら、地域や市と協働してワークショップイベント等を企画・開催している。

参加自治体（新見市・高梁市・総社市・井原市・倉敷市）



新見市

県北西部に位置する清らかな空気と山々に囲まれた自然豊かなまちで、千屋牛やピオーネなど美味しいものが盛りだくさん！空き家活用補助や子育て支援も充実している。



総社市

交通アクセスが良く自然にも恵まれた、都会すぎず田舎すぎない、暮らすのにちょうどいいまち。幼稚園での給食開始や英語特区の義務教育学校など、子育て世代から注目。



倉敷市

白壁の風情ある町並みや児島ジーンズトリート、穏やかな瀬戸の海と瀬戸大橋。観光・歴史・文化・自然のすべてが魅力。自動車やジーンズなどのモノづくり産業と、桃やブドウなどの農業が盛ん。



高梁市

県中西部に位置し、豊かな自然や伝統文化を受け継ぐまち。JRや高速ICがありアクセス良好。空き家バンクが充実しており、移住コンサルジユを通して移住の相談も可能。



井原市

市街地と豊かな自然が調和したまちで、アジア初「星空保護区（コミュニティ部門）」に認定された最高の星空を眺めながらの「ちょ田舎ぐらし」が楽しめる。満18歳までの医療費や保育料、給食副食費が無償で子育て世代に人気。

申込方法

●メールから申込

下記の項目を倉敷市くらしき移住定住推進室へメール(iju@city.kurashiki.okayama.jp)で申込みください。

①氏名 ②フリガナ ③現住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥参加人数

●右記二次元コードから申込

申込締切 **6月11日（水）**



* 申込いただいた個人情報は、主催者及び共催者と共有させていただき、移住定住に関する相談・情報提供以外には使用しません。

